

ツインアクセル (ブラジル国債&世界小型株式) 《2021-01》

<5778>

追加型投信／内外／資産複合

満期償還 2021年1月27日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル国債および米国を除く世界の小型株式に投資し、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	9,273円60銭
	純資産総額	816百万円
償還期	騰落率	6.5%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

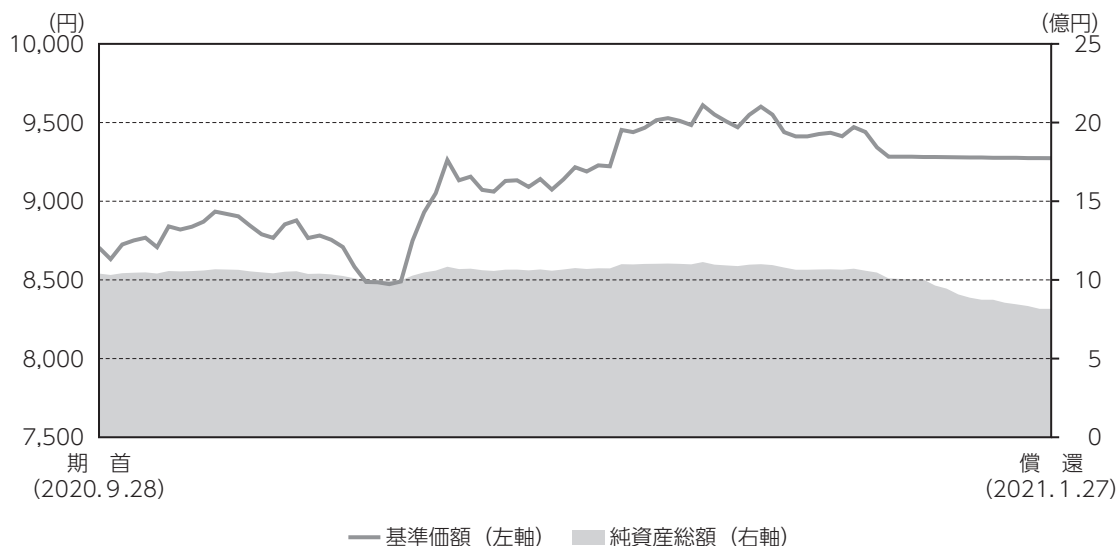
◇TKU0577820210127◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド（運用報告書）」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書（全体版）を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：8,705円

償還時：9,273円60銭

騰落率：6.5%

■ 基準価額の主な変動要因

投資しているブラジル債券の利息収入やブラジル・レアルが円に対して上昇（円安）したこと、世界小型株式（米国を除く）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.9.29~2021.1.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	44円	0.485%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,129円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.182)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.292)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.018	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	46	0.503	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

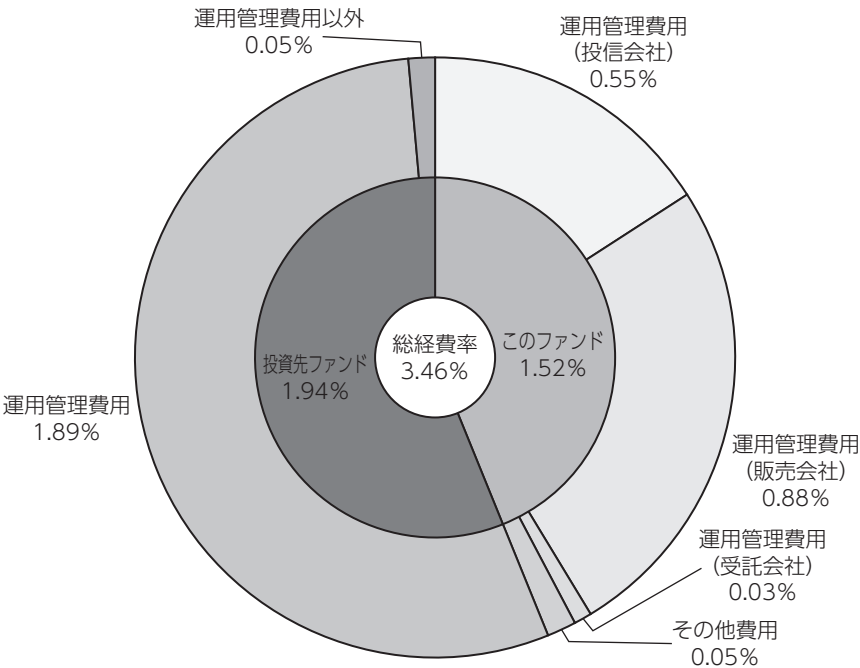
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

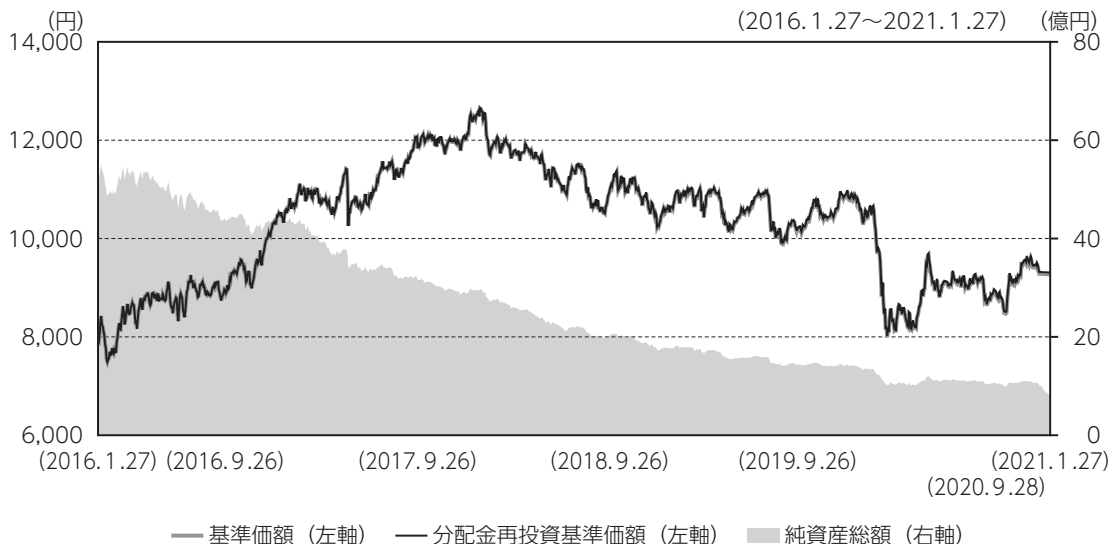
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.46%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.46%
①このファンドの費用の比率	1.52%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

	2016年9月26日 期初	2017年9月26日 決算日	2018年9月26日 決算日	2019年9月26日 決算日	2020年9月28日 決算日	2021年1月27日 償還時
基準価額 (円)	8,953	11,830	10,951	10,191	8,705	9,273.60
分配金（税込み） (円)	—	10	10	10	10	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	32.2	△7.3	△6.8	△14.5	6.5
MSCI ACWI ex USA Small Cap (Net) 指数 (円換算) 騰落率 (%)	—	30.7	4.8	△10.8	2.1	22.1
ブラジル・レアル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	13.6	△21.5	△6.3	△27.1	2.3
純資産総額 (百万円)	4,383	3,149	2,026	1,436	1,040	816

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) MSCI ACWI ex USA Small Cap (Net) 指数 (円換算) およびブラジル・レアル為替レート (対円) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) MSCI ACWI ex USA Small Cap (Net) 指数 (円換算) は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCI ACWI ex USA Small Cap Index (Net) (米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCI ACWI ex USA Small Cap Index (Net) (米ドルベース) は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注6) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

設定以来の投資環境について

(2013.9.27～2021.1.27)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券市況は、金利が低下（債券価格は上昇）しました。

ブラジル債券市況は、設定日から2014年にかけて、金利はおおむね横ばいで推移しました。2015年は、財政再建がテーマとなりました。政府と議会との対立によって追加増税法案の成立が遅延したことや緊縮財政に積極的な財務大臣が辞任するなど、財政懸念が高まった局面で金利は上昇しました。通貨安によるインフレ懸念の広がりも金利上昇要因となりました。しかし2016年以降は、金利は低下に転じました。財政再建への期待が高まったことやインフレ率の低下を背景に中央銀行が継続的に利下げを行ったことなどが低下要因でした。2018年は、新興国からの資金流出懸念を背景に金利は上昇しましたが、10月の大統領選挙でボルソナロ氏が勝利すると、新政権への期待感などから金利は低下しました。2019年半ば以降は、政府と議会の協力関係構築に向けた動きが見られ年金改革への期待感が一段と高まる中で世界的に金融緩和観測が高まり、ブラジル中央銀行も利下げを再開したことを背景に、金利は一段と低下しました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで急激にリスク回避的な動きとなりましたが、ブラジル中央銀行を含む各国の金融当局が大規模な金融緩和策を実施したことは金利低下要因となりました。

■世界小型株式市況（米国を除く）

世界小型株式市況（米国を除く）は上昇しました。

世界小型株式市況は、設定日から2015年末までは一進一退の展開が続いたものの、2016年に入ってから、米国の好調なマクロ経済指標などを好感して上昇基調が続きました。2018年6月からは、米中貿易摩擦の激化が懸念されたことやイタリアの政局への警戒感が高まったことなどから一時下落した局面もありましたが、その後は、米中貿易摩擦の懸念が後退したことなどから2019年末にかけて株価は回復しました。2020年に入り、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けた景気後退懸念から急落しましたが、3月からは各国の大胆な景気刺激策の発表などから反発し、足元にかけても経済活動再開への期待や新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などから上昇基調が継続しました。

■為替相場

・ブラジル・レアル

ブラジル・レアルは対円で下落（円高）しました。

ブラジル・レアルは、設定日から2015年2月にかけては対円でおおむね横ばいで推移しました。その後、ブラジル経済見通しの低迷やブラジル国営石油会社ペトロbrasの汚職問題等により投資家心理が悪化したこと、米国の利上げ観測やギリシャ債務問題、また中国景気への懸念などが、新興国・資源国からの資金逃避の動きにつながったことなどから、レアルは対円で大幅に下落しました。しかし2016年3月になると、原油価格が底打ちして株式市場が上昇するなどリスク回避姿勢が和ら

いだことや、ルセフ元大統領の弾劾手続きが進展して政権交代期待が高まったことで、レアルは上昇（円安）基調となりました。2018年に入ると、世界的な株価下落の中で市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったこと、国内の景気悪化懸念や政治の不透明感などがレアルの下落圧力となりました。2019年8月には、米中貿易摩擦が激化したことにより世界的にリスク回避の動きが強まり、レアルは売られました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで金融市場が急激にリスク回避的な動きとなり、レアルは大きく売られました。

- ・ インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）の主要投資対象通貨
主要投資対象通貨は円に対しておおむね下落しました。

設定日から2016年前半にかけて、原油価格や中国・人民元の下落を背景にリスク回避傾向が強まり、円高で推移しました。その後は、米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策期待などを背景に2017年末にかけて円安が進みました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大によって世界的な景気減速懸念が高まったことなどから投資家心理が悪化し、主要投資対象通貨は対円でおおむね下落しました。

※インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）：TCWファンズーTCW・インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）

信託期間中の運用方針

■当ファンド

主として、「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫」および「インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債および米国を除く世界（新興国を含みます。）の小型株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。）が一度でも15,000円を超えた場合、わが国の短期金融商品等による安定運用に順次切替えを行い、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫

主として、ブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。

■インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）

米国を除く世界の小型株式の中から、強い競争力と成長性を持つと判断される株式に投資し、信託財産の成長をめざします。ポートフォリオの構築にあたっては、財務状況、経営体制、オペレーション体

制、商品開発力、業界での地位等のファンダメンタルズを分析して投資対象銘柄を選定したのち、成長性や株価バリュエーション等を分析して組入候補銘柄を選定し、世界の経済情勢や業界動向等を考慮してポートフォリオを構築していきます。

信託期間中のポートフォリオについて

(2013.9.27～2021.1.27)

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド＜2021－01＞」および「インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）」の受益証券の組み入れを継続し、信託期間中の解約に対しては、投資比率がおおむね変化しないように対応しました。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド＜2021－01＞

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

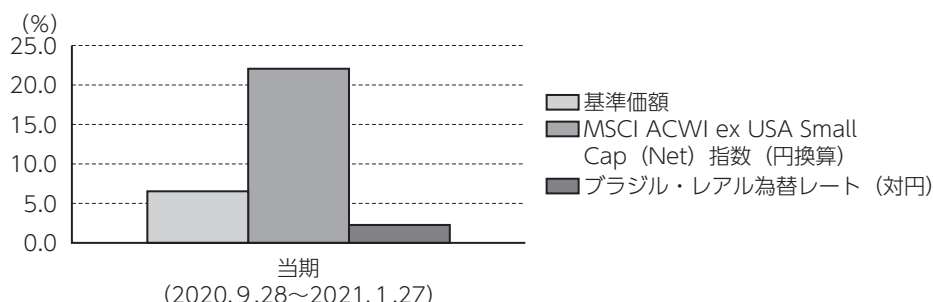
■インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）

主に資本を有効に活用して高い収益性を実現するとともに高成長が見込める企業に注目し、ポートフォリオを構築しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期中における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第1期から第7期各10円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

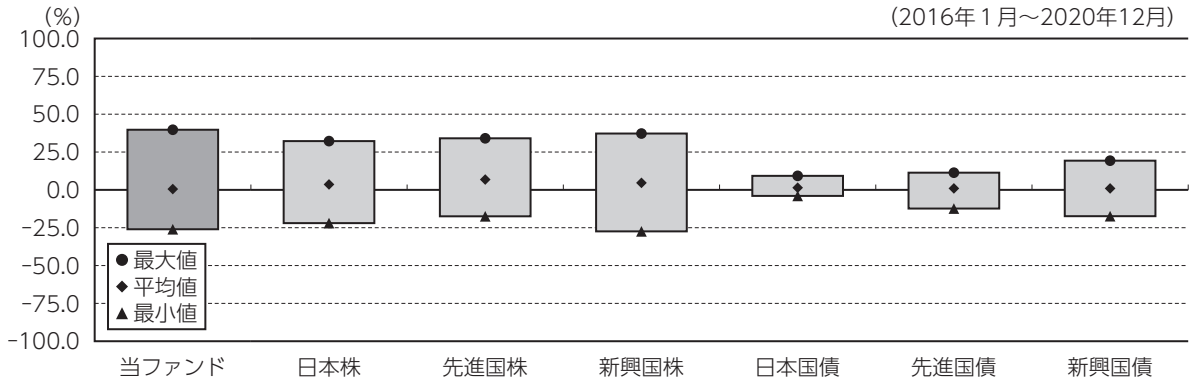


当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	約7年4カ月間（2013年9月27日～2021年1月27日）	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	当ファンド	イ．ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021－01≫の受益証券 ロ．ケイマン籍の外国投資信託「ＴＣＷファンズ－ＴＣＷ・インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）」（以下「インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）」といいます。）の受益証券（円建）
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021－01≫	ブラジル・レアル建てのブラジル国債
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	①主として、マザーファンドおよび「インターナショナル・スモール・キャップ・ファンド（日本円・クラス）」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債および米国を除く世界（新興国を含みます。以下同じ。）の小型株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。以下同じ。）（※）に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。 ※米国を除く世界の小型株式とは、米国以外に本社を置いている企業または主たる経済活動を米国以外で行なっていると投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が判断した企業のうち、株式の時価総額が当該投資顧問会社の定める一定水準以下の企業が発行する株式をいいます。なお、上記に該当しなくなった場合でも、当該銘柄を直ちに売却するわけではありません。 ②設定当初の債券と株式への投資比率はおおむね6：4とします。その後、為替や株価の値動き等により投資比率は変化します。 ③ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。 ④上記①～③にかかわらず、基準価額（1万円当り。既払分配金を加算しません。以下④において同じ。）が一度でも15,000円を超えた場合、わが国の短期金融商品等による安定運用に順次切替えを行ない、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。ただし、基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンド の 運 用 方 法	①主として、ブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	39.7	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
平均値	0.5	3.6	6.8	4.6	1.4	1.0	1.0
最小値	△26.0	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2021年1月27日
純資産総額	816,147,286円
受益権総口数	880,075,847口
1万口当り基準価額	9,273円60銭

* 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は314,845,214円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。